45

公正、公平、社会正義　×　親切、思いやり

受験しない人たちで

年　　組（　　）

「今度の日曜日、子ども会のメンバーで公園で遊ばない？」

ヨシオがさそいかけてみると、トウマはちょっと考え込んだ。

「いいね。――でも、中学受験をする人たちは、じゅくの勉強でいそがしいよ。だから、さそったら悪いんじゃないかな。」

「たしかに、それもそうだね。じゃあ、子ども会のメンバーで、受験しない人たちだけで遊ぼうか。」

受験しない人たちだけに声をかけ、公園で遊ぶことにした。

遊具でおにごっこをして、サッカーをした後、最後にみんなで集合写真をとって解散した。

帰り道、トウマはヨシオに言った。

「今日は、楽しかったけど――。やっぱり、みんなで集まりたいよね。」

「うん。受験が終わったら、卒業までの間は、またみんなで遊べるだろう。」

「それまでのしんぼうか。みんな、うまくいくといいな。」

事件が起こったのは、次の日のことだった。

登校すると、ソノコがヨシオに向かっておこり始めた。

「子ども会のメンバーで遊んだのに、受験する人は呼ばなかったんだって？　一体どういうつもり？」

ソノコは、受験をひかえている子ども会の１人だ。

「ええっ？　どうして知ってるの？」

「写真を見せてもらったのよ。受験するメンバー以外で、自分たちだけで遊ぼうだなんて、どうかしているよ。私たちも、さそってくれたらいいじゃない！」

受験でいそがしいだろうから、気をつかっただけなのに――。

ヨシオは、自分がどうするべきだったのか、わからなくなってしまった。

ヨシオは、どうするべきだったのでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

話し合って考えたことを書きましょう。